



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 276

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- ◎ 12月13日(火)
2017春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会
(労働福祉会館別館5階)
- ◎ 12月18日(日)
連合徳島地域ユニオン第8回定期大会
(連合徳島会議室)
- ◎ 1月10日(火)
2017連合徳島新年旗開き(阿波観光ホテル)



すべての働く者を連合の輪へ

「安心社会」を切り拓き 16、17年運動方針を補強

連合徳島は11月28日(月)に徳島市の阿波観光ホテルで連合徳島第28回中間期大会を開催し、ご来賓・役員・代議員など108人が参加した。

冒頭、新居会長代行の開会あいさつに続き、議長団に谷本代議員(情報労連)、渡邊代議員(全水道)を選出し進められた。

連合徳島を代表し森本会長より、「連合徳島5万人規模をめざし『クラシノソコアゲ応援団!2016RENGOKAMPEN』を軸として、労働相談ダイヤルや学習会、関係機関に対する要請行動に取り組み、中小でも大手を上回る成果を獲得できた状況が見られた。県内での大半を占める小規模、零細企業で働く多くの仲間にも前年度実績や、今年の情勢、賃金の地域相場を情報交換しながら足並みを揃えて引き上げる取り組みをしつつ、『ワーク・ライフ・バランス』が確立された社会を実現し、企業も労働者も一緒に成長していく状況を作り出したい」とあいさつ。

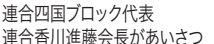
連合本部の南部副事務局長は、「政治をめぐる状況として『政治に無関心ではい



連合徳島代表 森本会長があいさつ



連合本部代表 南部副事務局長があいさつ



連合四国ブロック代表 連合香川連合会長があいさつ

博文氏の推薦を提案した。質疑では鈴木代議員(自治労)より「財政再建議論において社会保障予算の削減がターゲットにされており、社会保障削減は地方自治体の大きな負担となっており、地方財政の削減に連合として注意が必要である。連合としても、社会保障制度を守るために地方財政を確立する取り組みの推進をお願いしたい」と述べた。富田女性特別代議員(県教組)からは、「在特会による業務妨害裁判では、上告を門前払いした事で終止符を打つことができた。検察が不起訴にしたものをひるがえすことは1%であると言われるが、沢山の組織の皆さんからの団体署名の力だと感謝している。世界的に民主主義が危機的な状況であるが、今後も連合と共に反差別の運動を進めていきたい」と感謝を述べた。

鳥事務局長より、鈴木代議員への答弁で「地方の抱える大きな課題であるとして認識しており、連合徳島としても地方財政を守ることが社会保障を守ることと直結している事を全国の地方連合事務局長とも情報連携し取り組んでいきたい。」

「国民の暮らしを中心とした社会的対抗軸の構築が不可欠であり、国民世論を動かしていくためには、『クラシノソコアゲ応援団!2016RENGOKAMPEN』第2弾を展開する。また、貧困や社会的排除、長時間労働の是正などについて、身近で具体的な課題を突破口に国会動向にもらみつつ、連合本部、構成組織、地方連合会、地域協議会が総がかりで取り組むことが必要であり、非正規雇用労働者の組織化と処遇改善の促進もめざし、『職場から始めよう運動』をより強化し、非正規雇用労働者の組織化に積極的に取り組む方針補強をしていく」と提案。続いて小谷財政局長より2016年度連合徳島一般会計剰余金処理と2017年度連合徳島一般会計予算の提案。新居会長代行からは2017年度役員補充として、新執行委員に松本忠宏(私鉄総連)、三木宗之(基幹労連)の2名を提案した。第48回衆議院議員選挙立候補の推薦については、鳥事務局長より民進党徳島県連代表の仁木

3地協は9月29日から11月18日の間、以下にかかる政策課題に対する政策・制度要求内容を策定し、県内市町村長に対し要請行動を行った。

連合徳島は、拡大する格差を早急に是正し、すべての人に働く場があり、男女が平等に活躍の機会が与えられる、安心のセーフティネットを確保された「働くことを軸とする安心社会」を目指して取り組みを進めている。

具体的には、(1)地方税財政の確立(2)地域の多様な主体との連携強化による産業



鳥事務局長が遠藤徳島市長に要請書を提出

等保障と貧困の連鎖防止、労働教育の推進(10)総合的な防災・減災対策の充実(11)雇用における男女平等の推進(12)男女平等の視点に立った社会制度・慣行の見直し(13)ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現」である。

政策制度実現に向け、連合徳島3地協自治体要請行動



各構成組織から108人が参加

変えよう! 奨学金

給付型奨学金

学費と奨学金返済の負担軽減を!

奨学金借入れ額

平均 312.9万円

毎月の返還額

平均 17,206円

返還期間

平均 14.1年

若者の学びと成長を社会全体で支えよう!

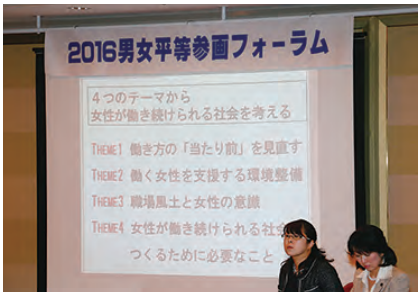
賛同募集中

給付型奨学金の創設等を求める署名は303万筆を超え、政府も検討に向けて動き出しました。少しでもいい内容で実現できるよう、みんなで声をあげ、奨学金制度を変えていきましょう!

- 1 貸与から給付へ ~従来の奨学金に~
速やかに大学生を対象とした給付型奨学金を創設し、将来に向けて拡充しよう!
- 2 有利子から無利子へ
有利子から無利子への流れを加速し、無利子奨学金を大幅に拡充しよう!
- 3 学費を含めた教育費負担の軽減
大学の学費の引き下げや授業料減免の拡充を!
- 4 当事者の声を反映したよりよい制度へ
奨学金の制度設計や運営への当事者・利用者の参画、情報公開の徹底

女性が働き続けられる社会を

2016男女平等フォーラム



11月23日各構成組織から90名参加のもと、ホテルクレメント徳島にて「2016男女平等参画フォーラム」を開催した。

フォーラムでは加渡いづみ四国大学短期大学部准教授がコーディネーターを務め、「女性が働き続けられる社会を考える」と題してパネルディスカッションを

行った。パネラーである野田由香（特定非営利活動法人チルドリン徳島理事長）、高井美穂（徳島県議会議員）南部美智代（連合本部副事務局長）の3名からは、4つのテーマ①働き方の「当たり前」を見直す②働く女性を支援する環境整備③職場風土と女性の意識④女性が働き続けられる社会をつくるために必要なことなどについて、それぞれの立場で事例や今後の展望を説明。

最後に、まとめとして加渡准教授が「女性の優遇推進ではなく、男女がワークライフバランスをそれぞれ自分らしい自分の価値観に合った生き方、そして世の中を創っていくことが大切である」と締めくくった。



パネルディスカッション

「過労死等防止啓発月間」奨学金問題」キャンペーン行動は11月2日JR徳島駅前で、各構成組織から25人が参加し、街宣・ビラ配りを行った。冒頭、連合徳島森本会長から「11月は「過労死等防止啓発月間」であり、厚生労働省では、過労死の一つの要因である長時間労働の削減等、過重労働解消に向けた取り組みを全国で行っている。つい最近も広告代理店大手の電通に勤めていた大学を出たばかりの若い女性が自ら命を

絶たれた事案が労働災害であると認定された。このような不幸が二度と発生しないように政労使が一体となった取り組みをしなければならぬ」と訴えた。（公



過労死ゼロと奨学金制度を訴える連合徳島森本会長、労福協川越会長

益 徳島県労働者福祉協議会川越会長から「現行の奨学金制度は、ほとんどが教育ローンといわれる金利付きの「借金」である。大学を卒業したとたん数百万円の借金を背負ったまま、社会人となる若者を減らしていくために新たな制度が必要である。」と述べた。続いて、連合徳島新居会長代行、民進党徳島県連仁木代表、連合徳島議員ネット

ワーク・ライフ・バランスは大事だよ！
働き方に疑問を感じたら、ひとりで悩んだり、ぼやかないで、
まずは **連合徳島** に相談！
2016年 **12月6日(火)～7日(水)**
～あなたの働き方は大丈夫？～
10:00～19:00（上記期間のみ参加しています）
連合なんでも労働相談ダイヤル
相談無料 紛争解決OK
0120-154-052
日本労働組合総連合会徳島県連合会（連合徳島）



県民にビラとティッシュを配布

ワーク・ライフ・バランスは大事だよ！
働き方に疑問を感じたら、ひとりで悩んだり、ぼやかないで、
まずは **連合徳島** に相談！
2016年 **12月6日(火)～7日(水)**
～あなたの働き方は大丈夫？～
10:00～19:00（上記期間のみ参加しています）
連合なんでも労働相談ダイヤル
相談無料 紛争解決OK
0120-154-052
日本労働組合総連合会徳島県連合会（連合徳島）



下委員長があいさつ

女性委員会は11月23日、ホテルクレメント徳島にて70名参加のもと第28回中間期総会を開催した。議長に

自治労の岐代議員を選出した。冒頭、下女性委員長は「世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数は144カ国中111位と先進国では最下位となっている。女性活躍推進法も施行され、連合徳島において『女性役員2020年まで30%』をめざして、大会・地方委員会など女性代議員の人数を増やす努力をすることが大事である。」とあいさつ。続いて、連合徳島川口副会長、民進党徳

島県連仁木代表から来賓あいさつ。

報告・議事では藤田事務局長より2016経過報告・2017運動方針（案）を提案し、満場一致の拍手で承認された。岡田委員による総会宣言（案）が採択され、下委員長の団結がんばろうで閉会した。

17運動方針満場一致で承認

女性委員会第28回中間期総会



団結ガンバろう

男女平等政策関連法が 着実に実行を

（女性活躍推進法）

— 連合四国ブロック女性会議 —

連合四国ブロック女性会議は11月18日、19日、エクスプレス鳴門で開催され、四国四県より34人（うち連合徳



四国ブロック代表 連合徳島 島事務局長があいさつ

島14人）が参加した。冒頭、四国ブロックを代表して連合徳島の島事務局長があいさつし、安倍政権において男女の格差が一層拡大したことや、女性活躍推進法が現実とかけ離れている現状であることにふれた。会議では、連合本部井上

その後、菅村男女平等局長からは、2016春季生活闘争における男女平等課題まとめと2017春季生活闘争における男女平等課題について、①各単組賃

総合男女平等局長より、「男女平等政策に関連する法改正について、女性活躍推進法は罰則規定がないが、行動計画を策定して終わりでなく、女性の活躍状況の情報公表をしなければならぬ」と強調した。また、改正育児介護休業法について、半日単位の子の看護休暇、有期契約労働者の育児・介護休業の取得要件の緩和、介護の分割取得など、特徴的な点について説明した。

また、連合第4次男女平等参画推進計画の進捗状況について、女性執行委員ゼロ組織は構成組織19組織、運動方針に男女平等を明記していない構成組織が10組織であることを報告。「女性役員を選出していくことは女性特有の課題に意見反映して

金データに基づいた賃金分布を把握した世帯主要件の廃止②女性活躍推進法の行動計画、均等法の定着・点検は労使で取り組むこと③育児介護休業を非正規労働者へ制度拡充すること④両立支援に向けた環境整備など交渉・協議に実証的データを示すことを具体的に提起した。

特別講演では、県教組の富田真由美さんより徳島県教組襲撃事件訴訟裁判の報告とお礼を述べた。

2日目は、組合や職場の悩みと解決方法についてグループ討論と発表を行った。



四国四県から34人が参加